

鴨川河川整備計画 千年の都・鴨川清流プラン 実施状況（まとめ）

令和8年4月2日

実施(進捗)状況まとめ

◆安心・安全の鴨川をめざして

1-1 河川改修の着実な推進

		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉	H 27 28 29 30 R 1 2 3 4 5 6 7 8~
低水路拡幅	⇒ 実施中	護岸整備等の河川改修は、整備計画に基づき実施中 R7年度 低水護岸(京川橋下流右岸、最下流右岸) 高水護岸(京川橋下流左岸及び右岸)	整備計画に基づく護岸整備等の進捗を図る	
井堰改修(龍門堰)	⇒ 実施済	①龍門堰管理橋・本体上部工撤去(H27) ②下部工・樋門撤去(R1~R3)		
高水敷整備 ①仏光寺通~五条大橋(右岸) ②塩小路橋~東山橋(左岸) ③勸進橋上流(左岸) ④勸進橋~京都南大橋(右岸) ⑤鳥羽大橋~小枝橋(右岸)	⇒ 実施中	①仏光寺通~五条大橋(右岸)実施済 ②塩小路橋~東山橋(左岸)実施済 ③勸進橋上流(左岸)一部実施中 ④勸進橋~京都南大橋(右岸)実施準備中 ⑤鳥羽大橋~小枝橋(右岸)実施準備中	③勸進橋上流(左岸) 低水護岸の整備に併せ、高水敷(園路)整備中。R2に陶化橋から下流に向け園路を延伸。 ④くいな橋~京都南大橋、⑤鳥羽大橋~小枝橋(右岸) 低水護岸整備済。今後、低水護岸整備に併せて実施予定。	

1-2 多発する集中豪雨への取り組み

		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉	H 27 28 29 30 R 1 2 3 4 5 6 7~ 8~
河川情報発信施設等による情報発信の多様化	⇒ 実施済	①河川監視カメラ増設(R1:大原、松ヶ崎橋) ②河川情報発信装置の設置		
洪水予報システムの精度向上	⇒ 実施中	新洪水予報システムを構築。(試験運用)	予測結果のデータ蓄積と分析を継続し、システムの精度向上を図る。	

1-3 経験のない大洪水への備え

		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉	H 27 28 29 30 R 1 2 3 4 5 6 7~ 8~
治水安全度のさらなる向上方策検討	⇒ 実施	浸水想定区域図の見直し(H30年度公表) (対象降雨:1/100→概ね1/1000程度)	整備計画に基づく河川改修の進捗状況を鑑みながら、今後の対応方法を検討する。	

1-4 適切な維持管理

		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉	H 27 28 29 30 R 1 2 3 4 5 6 7~ 8~
中州・寄州の管理	⇒ 継続実施	R1年度に方針決定した中州管理方針に基づき、R2年度から、土砂堆積状況を確認しながら河床整正・定点観測を実施	R1年度に作成した方法に基づき、土砂堆積状況の変化を確認しながら進めていく 土砂撤去に伴う環境調査は、河川水辺の国勢調査によるモニタリングに移行	
河川構造物の点検・修繕等	⇒ 継続実施	計画的な点検・修繕に加え、出水時等には随時点検・修繕を実施	長寿命化計画等に基づき、適切な点検・修繕を継続 詳細な点検を実施するため、最新技術の活用等を検討	

◆千年の都・京都の美しい鴨川をめざして

2-1 良好な水辺環境の保全

		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉	H 27 28 29 30 R 1 2 3 4 5 6 7~ 8~
流況の把握	⇒	継続実施 R2 7月豪雨時に高水観測実施 これまで台風等の出水時に流量観測を実施(H26 台風11号,H27台風11号,H30 7月豪雨等)	洪水時において、高水流量観測を行い、引き続き流況の把握に努める。 低水流量観測については、大きな河床変動等断面形状の変化があった場合に観測する	

2-2 歴史都市・京都における鴨川の保全

		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉	H 27 28 29 30 R 1 2 3 4 5 6 7~ 8~
鴨川景観のあるべき姿の 具体的検討等	⇒	継続実施 エアコン室外機の景観対策を実施中(計45台対策済)	啓発活動の推進。京都市及び地元事業者等との連携による対応	

2-3 河川区域内行為の整理、指導等

		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉	H 27 28 29 30 R 1 2 3 4 5 6 7~ 8~
不法行為への対策	⇒	継続実施 がれき撤去、ホームレス対策、ゴミの放置対策を実施 条例の浸透と巡視・指導により違反件数の減少	引き続き対策とパトロールを継続し、再発防止を図る	
不適切行為への対策	⇒	継続実施 自転車の危険行為、鳥等への餌付け等、不法行為ではないが利用者が改善を望む行為に対する啓発等	新たな課題への対応を含め、府民会議での議論を継続	

◆より一層多くの人から親しまれる鴨川をめざして

3-1 鴨川の持つ魅力”楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

			〈今後の方向性〉	H 27 28 29 30 R 1 2 3 4 5 6 7~ 8~
黄昏時利用スポットの充実	⇒	試行 三条大橋桁下と下流園路で夜間景観づくりの社会実験を実施(R6.1月)	自然環境や景観等への影響を検証後、実施方法を模索	
川の自然体験スポットの創出	⇒	未実施	下流部の河川改修に合わせて親水空間となる拠点整備を検討	
鴨川ギャラリー等の整備 (文化発信)	⇒	実施 H29年度までに8箇所を設置済。 ギャラリーとは別に御園橋左岸に掲示板を設置	今後の利用促進・維持管理(更新・清掃等)が課題	
四季の彩りスポットの整備	⇒	未実施	整備後の維持管理(管理者・費用等)が課題	
飛石による回廊ルートの強化	⇒	一部実施 西賀茂橋上下流の既設飛石を、下流に統合して復旧済。「御池～七条間」は流速・水深等から設置不可と判断	情報提供と回廊ルートは、園路整備と併せて引き続き検討	

				H 27 28 29 30 R 1 2 3 4 5 6 7~ 8~
水辺環境の保全・再生（魚道設置、瀬・淵再生等）	⇒ 実施中	落差工修繕時に、治水上支障のない範囲で遡上しやすい形状等に配慮して施工 龍門堰撤去部に魚道を設置（R1年度） 今井堰に切欠を入れ魚の遡上支援（R1年度） 水産課による仮設魚道の設置（葵橋上流他）	改築工事に合わせて検討 流下能力を阻害しない構造の検討が必要	
利用者の快適性の向上（光・映像による演出他）	⇒ 実施中	「京の七夕」でのプロジェクションアート 「桜ライトアップ」、「鴨川茶店」「勸進橋フェスタ」など。夜間景観づくりの社会実験（R6.1）	安全対策・開催費用が大きな課題 民間（企業・NPO等）との連携を進める	
河川公共空間の適切な維持管理	⇒ 実施中	①計画的な点検・修繕に加え、出水時等には随時点検・修繕を実施 ②鴨川公園の園路整備	長寿命化計画等に基づき、適切な点検・修繕を継続 より詳しい点検を実施するため、最新技術の活用等を検討	
3-2 NPOや大学、地域との連携・協働		〈実施状況〉	〈今後の方向性〉	H 27 28 29 30 R 1 2 3 4 5 6 7~ 8~
鴨川探検等体験学習や環境教育の展開（次世代教育）	⇒ 継続実施	「鴨川探検！再発見！」を継続実施。R7は3回開催（R7年度参加者：計53人） カモシネマとの協働	内容の拡充や地域との連携・協働等、活動の展開を必要に応じて検討	